

～区レベル地域ケア会議からの提案を受けて～

# 蒲田地域認知症地域支援推進員連絡会の取組み

平成31年3月区レベル地域ケア会議から区への提案を受けてから現在までの、蒲田地域福祉課及び蒲田地域管内の地域包括支援センターにおける課題解決に向けた取組みを報告します。

令和  
元  
年  
度

平成31年4月～  
3月に区レベル地域ケア会議から受けた提案を踏まえ、蒲田地域ではどのように取り組むかを検討

管内の6地域包括支援センターに配置されている、**認知症地域支援推進員の連絡会**を立ち上げて検討を始めることに。

8月 第1回連絡会  
区レベル会議で提案のうち、蒲田地域では、まずは、

課題1～多世代に認知症を正しく理解してもらおう～  
■子育て世代、子ども世代に認知症を正しく理解してもらおう■

から始めることに決定

10月～3月 第2～4回連絡会  
どうすれば子どもに興味を持ってもらえる？

⇒親にも、「役に立つ」と興味を持ってもらえるといいのではないかと？  
⇒「夏休みの自由研究に役立つ」ことをアピールポイントにしよう！

1日型の「サマースクール」を企画し、準備を開始

10月～3月 第5～8回連絡会  
来年の夏に向けて活動を再開！  
○夏時点の感染状況がどうなっているか予測がつかない  
○学校でもタブレット端末を活用する等、web環境が整ってきている

WEB会議形式での小学生向け認知症講座の実施を決定

令和  
3  
年  
度

4月～7月 第9～12回連絡会  
講座内容を検討  
○自由研究としてもそのまま使えるように、ワークブック型(書き込み式)のテキストを作成  
○参加者全員に発言してもらうため、少人数形式で実施する。  
○当日は時間が限られることから、Youtubeで公開されているアニメ動画を事前に視聴してもらう。  
(鹿児島県さつま町の地域包括支援センターが作成した「やっぱりサブちゃんのチャーハンが最高！」)

感染拡大により令和2年夏のサマースクールは、実施を断念

デイ事業者や、学習支援ボランティアとの連携も予定していたところ…

令和  
2  
年  
度

こんな「サマースクール」を企画しました

朝: 認知症サポーター養成講座で、認知症の基礎知識を学ぶ  
昼: 数人ずつに分かれてデイサービスに行き、認知症の方と交流しながら昼食  
午後: 再度集合し、「自由研究」のまとめを作成

短時間のオンライン講座でも主体的に参加してもらうため、  
○テキストに書き込んだ内容で、こまめに理解度を確認  
○全員が自分の考えを発言する機会を多く取る  
といった工夫をしました。

## 8月2日 講座当日

当日の流れ

- 自己紹介 ○認知症はどんな病気？
- アニメの振り返り
- クイズ(どんな接し方がいい?)
- 学んだことや感想を書き込み、発表

(感想)

- 認知症は脳の病気だとわかった。
- (チャーハンを作るなどの)やり方がわからなくなったとき、始めに全部説明すると忘れてしまうから、一つ一つの工程ごとに伝えて、自分も一緒にやる。
- 認知症の人にきつい言い方をしない。…など、

認知症について、参加者それぞれが理解を深めるきっかけになりました。



ひとりじゃない。おせっかいと  
ありがとうの輪で寄り添うまち  
蒲田

10月～1月 第13～15回連絡会  
チーム・オレンジ立ち上げに向けた検討を中心に  
課題2～認知症や家族の集いの場を増やそう～への取組みについても検討を進める